



は は ら

波原便り高

県立辺土名高等学校

令和7年11月26日(水)

発行者 校長 桃原健次

第14号



地震・津波避難・ 消火訓練

11月5日(水)この訓練は、県地域防災計画に基づき、実践的な訓練を通して、地震・津波に対する防災意識の啓発や津波避難計画等の検証を行い、地震・津波災害にかかる防災体制の向上を図ることを目的として行われている。本校では、**地震発生から津波到達が10分以上ある場合は水平避難**(校舎裏門から東側・饒波部落へ更に石山方面へ)。地震発生から津波到達まで**10分未満の場合は垂直避難**(普通教室棟の3階へ)することとしている。今回は垂直避難を行った。また、地震・津波訓練とは別途に校内での火災発生を想定して、避難・消火訓練を実施した。生徒・職員とも真剣に取り組むことができた。日頃からの意識付けの必要性を感じました。

地域クリーンアップ作戦

11月7日(金)5・6校時、「学校周辺・地域の清掃活動」を通して自然を大切にする態度を養い、持続可能な社会づくりと自然環境保全について考える機会とする」を目的に行われた。1年生は学校周辺・饒波区入り口付近、2年生は喜如嘉海岸、3年生は大兼久区集落近くの清掃活動を行っており、雨天の合間での活動となり、清掃の区域は狭まってしまったが、道路沿いのゴミ、海浜の漂着ゴミ等、多くのゴミを拾うことができた。この集めたゴミは大宜味村が収集する。このような地域と連携した活動は積極的に取り組んでいきたいと考えています。



やんばるの自然を守る取組について考 える特別勉強会

11月5日(水)午後6時～

本校多目的室において、環境省沖縄奄美事務所と環境保護団体やんばるリンクスの主催で特別勉強会が行われた。本校サイエンス部3チームの発表があり、環境省やんばる保護管事務所の高橋氏から「山原は世界に類のない亜熱帯の森であること」、パタゴニア日本支社の柳谷氏から「流域治水の大切さ」についての話があった。環境保全の学びの多い勉強会でした。



東中学1年生が総合的な学習の時間

10月31日(金)東中1年生11名が進路学習として辺高の取組の紹介や説明を受け、学校施設や校内の生きもの博物館を見学した。感想では辺高について「山原の自然を学べることに興味を持った」「普通科と環境科があることを知った」「寮生がおおいことにびっくりした」など、進路について考える良い機会になったようです。



創立80周年12月6日(土)10時～記念講演「日本初の国立自然史博物館を沖縄に!」、11:45～記念式典